

根津鋼材 浦安事業所スタート

村田鋼業のCC事業継承

大手コイルセンター
 1、根津鋼材（本社）
 東京都荒川区、根津
 1日付で、100%子
 会社の村田鋼業（本社）
 事業を継承し、新たに



浦安事業所外観



事務所や厚生施設も一新

光社長）はきょう9月
 千葉県浦安市鉄鋼通
 2009年のM&Aによ
 りのCC事業継承

根津鋼材・浦安事業所として始動させた。2009年のM&Aによる根津鋼材グループ入りから7年が経過し、統合シナジーの浸透が進んでおり、名実ともに一体運営へと移行することで生産性や業務効率を一層高め、顧客満足度向上につなげる。

浦安事業所は22人体制。月間加工量は約4500ト。従業員は全員が村田鋼業から根津

鋼材に転籍する。村田鋼業社長を兼任する根津豪夫取締役関東事業部長が浦安事業所長を兼務。村田鋼業は不動産賃貸・管理業として存続する。

昨年までに自社販売については、同じ関東事業部傘下の八潮事業所（埼玉県八潮市）に移管しており、現在は受託・賃加工に特化した拠点として操業している。入側装置を完全自動化したスリッターラインをはじめ、自動化・IT化を推進した各種設備を保有し、グループ拠点の中でも現場1人当たりの生産性が高いのが特長だ。

浦安事業所のスタートに先立って、事務所

棟の一部リニューアルを実施。2階の事務スペースを従来の半分に戻し、残りを食堂に改装した。元々食堂があった1階にはシャワー室を設置するなど、厚生施設を一新し、従業員の職場環境向上を図っている。

以前から根津グループの一事業所との位置付けで運営していたこともあり、業務の流れとしては特段変わらな

いが、統合を機に既存顧客へのサービス向上や他拠点の自社販売を後押しする意味でも、コスト競争力にさらなる磨きをかけていきたい考え。今後も引き続き自動化・省力化投資を推進するとともに、「人員に対するパフォーマンスをどれだけ上げられるかにチャレンジしていきたい」（根津社長）としている。